

大友理事長、理事、編集委員会委員の皆様

シュプリンガー・ジャパン米澤さんより下記の連絡がありました。Impact factor が下記のように計算されることになりました（点数は低いものとりあえず算定の対象となる）。とりあえずは喜ばしいところです。これまでの地道な努力によるものと思います。感謝致します。たまたま誌名変更と重なりましたが、計算されるのは今年と来年の論文の引用を再来年計算するものだそうです。誌名が変更になってもこれは変わらないが、計算は2009年と2010年の論文で2011年の掲載になるようです。下記に米澤さんからの連絡をお送りします。

来年からより意識してよい論文、reviewなどを投稿していただければ、impact factor がしっかりとつきますので投稿者にもモチベーションがたかまるかと思えます。また投稿を皆様にお願ひすると同時に若い人達を encourage していただければと思えます。

松井 修

”Radiation Medicine が Thomson Reuters 社(元 ISI 社)のデータベース、Science Citation Index Expanded に 2008 年の 26/1 号から登録される旨、本社より連絡が入りました。添付は先方からのアクセプトレターです。これにより、本誌には impact factor が計算されるようになります。今回は、学会様からも弊社からも審査の依頼をしていたわけではありませんが、ISI 社では独自の審査を行っており、それにより登録が決まったかと存じます。（登録にあたり 2 ページ目のフォームの提出を求められておりますが、弊社で対応させていただきます。）

ジャーナル名の変更と impact factor の関係を以下にご説明します。

1) 2009 年よりジャーナル名が変更されてもデータベースにはそのまま登録される。（本社にこの点は確認を致しました。）

2) もし Radiation Medicine の誌名をそのまま変更しない場合、最初の impact factor は、2008 年と 2009 年の掲載論文が 2010 年に何回引用されるかにより計算される、2010 年の impact factor になる。これは 2011 年の 6 月頃発表の Journal Citation Report (JCR) に掲載となる。

もし誌名を変えれば Radiation Medicine としての impact factor は計算されない。

3) 来年より Japanese Journal of Radiology の新誌名となった場合、最初の impact factor は 2009 年と 2010 年の掲載論文が 2011 年に何回引用されるかにより計算される、2011 年の impact factor になる。これは 2012 年の 6 月頃の発表となる JCR に掲載となり、誌名を変更しなかった場合より 1 年遅れの発表となる。

4) 誌名を変更することにより、データベース内では別々のジャーナルとして扱われるので、これまでの **Radiation Medicine** 引用データは新ジャーナルには引き継がれない。

今回誌名を変えられることになったのは、**IF** を得ること、そのためにより広い分野からの投稿が得られるようにするためとお聞きしております。

すでに **IF** が得られたことと、より早く **IF** を得ることを考えれば、誌名変更は必要ないということにもなりますが、すでにご報告して来ましたように、現在の掲載論文の引用のされ方はこの分野の他のジャーナルと比較してもまだまだ低いものです。

将来のジャーナルの発展を考えますと、投稿原稿の分野の拡大、投稿数の増加、これらの変化による引用実績の向上といった視点からは、やはり誌名の変更が有効であることは変わらないかと考えられます。